

STEP-UP CURRICULUM

職位別の研修カリキュラム

防災担当者として必要な能力や知識について、受講者に応じて無理なくステップアップできるようなカリキュラムを実施します。

幹部 コース

災害対応上で求められるリーダーシップの発揮に必要な知識やスキルの習得が目的とし、災害現場で組織のトップが向き合う現実を把握し、トップに求められる意思決定の過程、さらにはマスコミ対応等広報のあり方について学びます。

- 期間 2日間
- 対象 首長、または課長級以上程度の首長を補佐する幹部職員



防災中堅 コース

災害現場の実情や災害によって生じる社会的影響を把握し、災害対応の全体像と組織のリーダーに求められる災害対応上の役割を理解し、リーダーをサポートする中間管理者に求められる災害対応とその効果的な推進のために必要な知識やスキル、作法やノウハウを学びます。

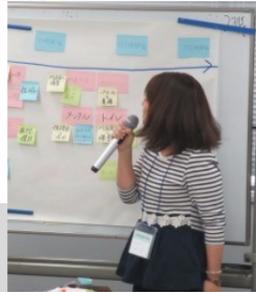
- 期間 4日間
- 対象 防災担当部門の中間管理者(係長級以上課長補佐級以下程度)



防災一般 コース

災害対応業務を遂行する上で必要となる知識やスキルを習得するため、災害現場の実情や対応の実態を把握し、災害後に生じる社会的影響と対応の流れをイメージしつつ、担当者としての責務や役割を理解するとともに、災害対応に必要な基礎的知識と心がまえを学びます。

- 期間 4日間
- 対象 防災担当部門の所属年数の浅い職員(係長級未満程度)



総合 コース

- 期間 10日間

内閣府のOJT研修として派遣されている地方公共団体及び指定公共機関の職員と国の防災担当部門の職員を対象に、防災担当一般職員向け研修「ベーシック」からのステップアップコースとして、①災害対応特有の業務を、②発災時から復旧復興期までの時系列に、③災害対応上の各種課題の対処能力と知識を演習を中心



■ 会場 有明の丘基幹的広域防災拠点施設 東京都江東区有明3丁目

- アクセス りんかい線 国際展示場駅より徒歩4分
ゆりかもめ 有明駅より徒歩2分

有明の丘基幹的広域防災拠点施設は、首都直下地震等の大規模な災害発生時に、現地における被災情報のとりまとめや災害応急対策の調整を行う「災害現地对策本部」等が置かれる首都圏広域防災のヘッドクォーター及び広域支援部隊等のベースキャンプ、災害医療の支援基地として、東扇島地区(川崎市)の物流コントロールセンターと一体的に機能する防災拠点施設です。



実施主体



企画・運営



来るべき巨大災害に備えて 防災スペシャリスト養成研修



内閣府(防災)

中央防災会議「防災対策推進検討会議」の最終報告(平成24年7月)で、災害発生時対応に向けた備えの強化として「職員の派遣・研修を含む地方公共団体との連携体制の充実」、「国・地方の人材育成・連携強化に資する防災訓練等による国・地方を通じた防災体制の充実」、「政府の防災部門と地方との人事交流の機会の拡充等による国・地方を通じた危機管理の経験職員の増加」を図るべきとの提言がされました。

これを踏まえ、内閣府(防災)は、国、地方公共団体、指定公共機関の職員を対象とした、受講者の経験や能力に応じた災害対応業務を遂行する上で必要な知識やスキルを習得する「防災スペシャリスト養成研修」を実施します。

幹部コース

- ▷ 幹部職員を対象としたコース

防災中堅コース

- ▷ 防災中堅職員を対象としたコース

防災一般コース

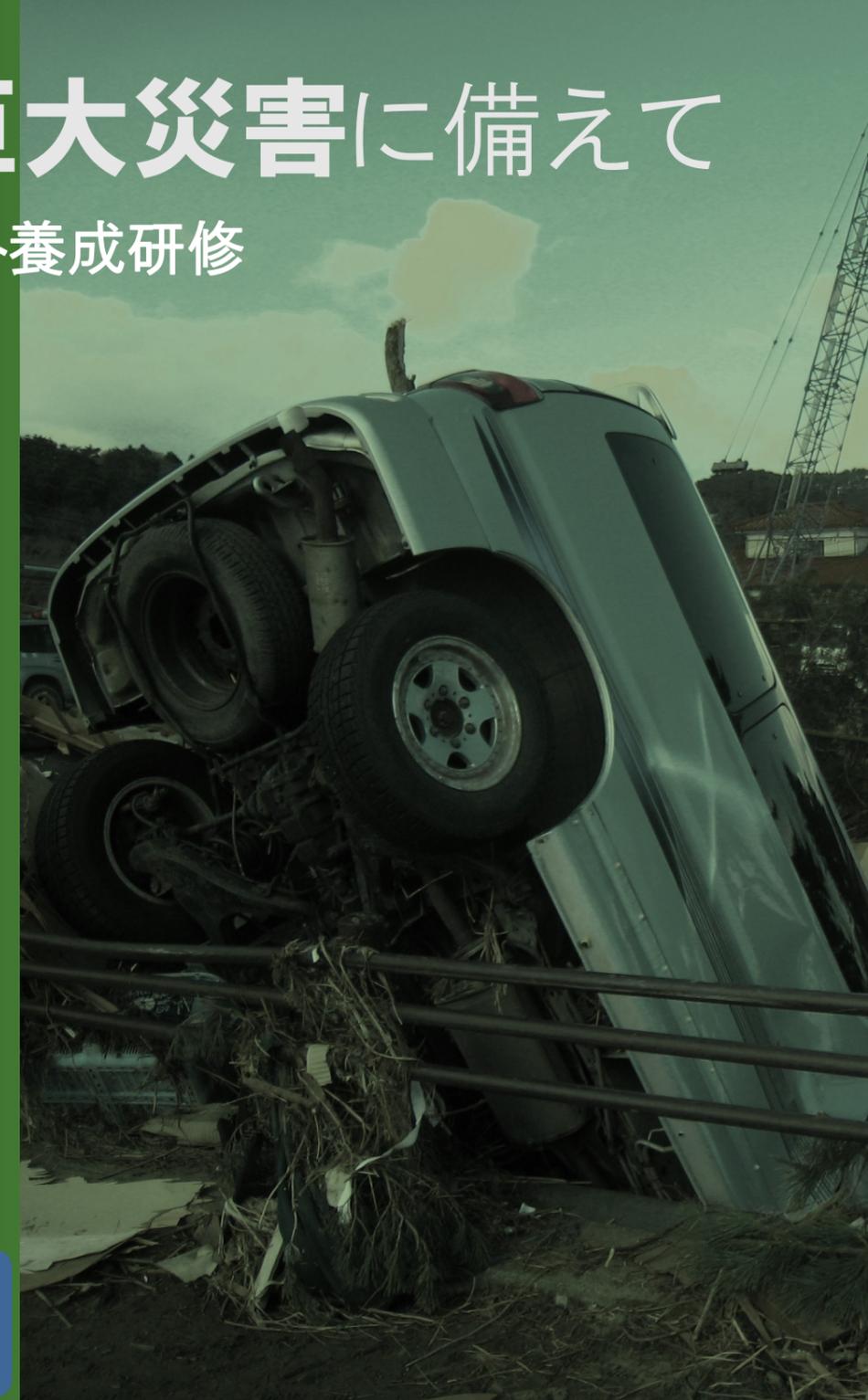
- ▷ 防災一般職員を対象としたコース

総合コース

- ▷ 総合的スキルアップのためのコース

研修の特色

- 巨大災害対策に必要な事項を体系的に網羅
- 防災担当者の能力を向上させるカリキュラム
- 過去の災害教訓を踏まえた実践的な研修
- 研究者によるバックアップ
- 受講者相互の人的ネットワークの構築
- 充実した講師陣



CURRICULUM

カリキュラム

■ 幹部コースのカリキュラム構成

項目1	被災社会の実態
○	近年の主要災害から被害の実態と課題、教訓を知る

項目2	災害対応事例と教訓
○	災害対応経験首長等による講演
○	トップ等の果たすべき役割とリーダーシップの重要性を理解する

項目3	災害対応のあり方
○	災害対応経験首長等と参加者の討論
○	トップ等の果たすべき役割とリーダーシップの重要性を理解する

項目4	リーダーシップ論
○	トップ及びその補佐者としての責任と役割、心構え、立ち振る舞いについて理解する

項目5	目標管理型組織運用論
○	目標管理型意思決定システムについて理解する

項目6	目標管理・意思決定
○	状況が変化する中で将来を見通しつつ、各種課題に対する対策方針を決定する能力を養う
○	演習を通じて、トップ及びその補佐者としての判断、意思決定の考え方の理解を深める

■ 総合コースのカリキュラム構成

項目1	被災社会の実態
○	近年の主要災害から被害の実態と課題、教訓を知る

項目2	災害対応総論
○	応急期の災害対応の流れと主な災害対応業務との関係を理解する
○	復旧・復興プロセスと主な業務との関係を理解する

項目3	応急対応業務
○	予警報の伝達の実態と課題及びポイントを学ぶ
○	避難所開設・運営の実態と課題及びポイントを学ぶ
○	要援護者への支援の実態と課題及びポイントを学ぶ
○	救援物資調達・配布の実態と課題及びポイントを学ぶ
○	応急仮設住宅の建設と運営の実態と課題及びポイントを学ぶ
○	被害認定及び被災証明発行の実態と課題、ポイントを学ぶ

項目4	復旧復興業務
○	生活再建のための支援の枠組みと実施上の課題及びポイントを学ぶ
○	災害廃棄物処理の実態と課題及びポイントを学ぶ
○	復興体制と復興計画策定上のポイントを学ぶ

項目5	組織運営マネジメント論
○	効果的な災害対応を行う体制と運用の基本的な考え方を理解する
○	情報リテラシー、情報収集・整理の意義とその手法を理解する
○	目標管理、対策立案、意思決定手法の意義とその手法を学ぶ
○	効果的に関係機関間で相互調整を行うための実施手法を理解する
○	効果的に情報伝達、情報共有を行うための手法を理解する
○	情報分析に基づく対策立案から首長の判断に至る流れを理解する
○	適切な情報伝達や広報の進め方とポイントを理解する
○	災害時の情報伝達・広報の方法を身につける

項目6	総合図上演習
○	実演を通じて、総合的な災害対応能力を身につける

項目7	防災減災論
○	防災・減災の考え方を学び、事前対策の取組みの必要性を理解する

カリキュラムは、防災に関する第一線の研究者や国や被災経験のある自治体の実務家の講義に加えて、過去の災害の経験や教訓、研究成果を踏まえた様々な演習から成り立っています。

■ 防災中堅コースのカリキュラム構成

項目1	被災社会の実態
○	近年の主要災害から被害の実態と課題、教訓を知る

項目2	災害の社会的影響
○	近年の主要災害から被害の実態と課題、教訓を知る

項目3	災害対応総論
○	防災関連法と責務権限の範囲を理解する
○	国・都道府県・市町村・防災関係機関の災害対応の流れを理解する

項目4	国、防災関係機関、住民・企業等の災害対応
○	内閣府など国の災害対応の実態と課題を理解する
○	指定地方行政機関などの災害対応の実態と課題を理解する
○	自主防災組織、ボランティア、企業等の災害対応の実態と課題

項目5	都道府県・市町村の役割と連携
○	都道府県と市町村の役割と相互連携についての理解を深める

項目6	組織マネジメント論
○	災害対応業務管理と運営の考え方を理解する

項目7	災害対応業務管理
○	災害対策本部運用の実態と課題を理解する
○	避難所運営、食料・物資調達、輸送等の活動実態と課題を理解する

項目8	業務管理手法
○	情報リテラシー、情報収集・分析・整理の手法を理解する
○	目標管理、対策立案、意思決定の手法を理解する
○	関係機関相互の調整・連携の手法を理解する
○	情報伝達、情報共有、状況認識の統一の手法を理解する

項目9	災害対応従事者としての基本
○	上司への助言、業務管理、安全・衛生管理など、中間管理職として必要な知識や心構えを理解する

■ 防災一般コースのカリキュラム構成

項目1	被災社会の実態
○	近年の主要災害から被害の実態と課題、教訓を知る

項目2	災害発生メカニズム
○	地震・津波・風水害・火災の発生メカニズムと被害を理解する

項目3	災害の社会的影響
○	市民の生命と生活に直接影響を及ぼす事態と対応を理解する

項目4	防災関連法と計画の体系
○	防災関連法の全体像を知る
○	地域防災計画等の枠組みを知る

項目5	災害時の行政の役割と対応
○	国・都道府県・市町村の責務と役割を理解する

項目6	災害対応基礎
○	災害対応の体制と対策本部組織の役割を理解する
○	災害対応の流れと主な災害対応業務との関係を理解する
○	災害対応経験者から災害対応の実態を学ぶ

項目7	防災減災基礎
○	防災及び減災の考え方と基本的な対策を理解する

項目8	災害対応従事者としての基本
○	自治体職員としての責務や役割を果たすための心構えを理解する

SCHEDULE

スケジュール

※研修スケジュールは諸事情により変更される

場合がありますので、あらかじめご了承ください。

		1	2	3	4	5	
		09:30～10:45	11:00～12:15	13:15～14:30	14:45～16:00	16:15～17:30	
11月	12(火)	一般	有明の丘基幹的広域防災拠点施設見学(希望者のみ)	開講式 オリエンテーション	災害発生メカニズム「地震」 山崎文雄(千葉大)	災害発生メカニズム「風水害」 加藤孝明(東京大)	災害発生メカニズム「風水害」 牛山素行(静岡大)
	13(水)	一般	災害の社会的影響「大規模災害における行政対応の実態」 浦安市危機管理監 宮城県危機対策企画専門監	開講式 オリエンテーション	防災対策の基礎「防災情報システム」 小松幸夫(消防科学総合C) 西岡徹(Nコード協議会)	防災対策の基礎「地域防災計画」 岩田孝仁(静岡県県)	防災対策の基礎「災害法体系」 武田文男(政策研究大学院大)
	14(木)	一般	防災対策の基礎「災害法体系」 山崎栄一(大分大)	災害の社会的影響(演習) 「災害過程・被災者生活」 立木茂雄(同志社大)	防災の動き「防災マネジメント」「目標管理」 宇田川真之(DRI)	防災の動き「台風大雨竜巻に関する情報活用」 市澤成介(ハレックス)	防災対策の基礎「リスクコミュニケーション」 福島隆史(TBS)
	15(金)	幹部	有明の丘基幹的広域防災拠点施設見学(希望者のみ)	開講式 オリエンテーション	組織マネジメント「対応検討」 越野修三(岩手大) 阪本真由美(DRI)	災害対応総論「BCP」 丸谷浩明(東北大)	災害対応総論「広報」 福島隆史(TBS)
	16(土) 17(日)	一般	災害対応各論「企業連携」 水島重光(日本生協連)	災害の社会的影響「災害過程・被災者生活」 木村玲央(兵庫県立大)	防災の動き「地震災害史」 伊藤和明(防災情報機構)	全体討論会	閉講式
	18(月)	幹部	組織マネジメント「トップマネジメント」 志方俊之(帝京大学)	組織マネジメント「AAR」 重川希志依(常葉大学)	組織マネジメント「対応検討」 越野修三(岩手大) 阪本真由美(DRI)	組織マネジメント(演習) 「対応検討」 越野修三(岩手大) 阪本真由美(DRI)	閉講式
	19(火)	中堅	有明の丘基幹的広域防災拠点施設見学(希望者のみ)	開講式 オリエンテーション	災害発生メカニズム「津波」 越村俊一(東北大)	災害対応各論「医療活動」 阿南英明(藤沢市民病院)	災害対応総論「初動期対応」 高田洋介(DRI)
	20(水)	中堅	災害対応総論「応急期対応」 石川永子(DRI)	災害対応総論「復旧・復興期対応」 市古太郎(首都大)	災害対応各論「災害救助法」 中島直樹(和歌山県)	災害対応総論(演習) 「情報処理」 近藤伸也(DRI)	災害対応各論「自衛隊連携」 越野修三(岩手大)
	21(木)	中堅	災害発生メカニズム「都市巨大災害」 河田恵昭(DRI)	災害対応各論「広域連携」 阪本真由美(DRI研究員)	災害対応各論「災害時要援護者」 田村圭子(新潟大)	災害対応各論「救援物資物流」 興村徹(日通総研)	災害対応各論「自衛隊連携」 越野修三(岩手大)
	22(金) 23(土) 24(日)	中堅	組織マネジメント「情報処理・情報共有」 浦川豪(兵庫県立大)	組織マネジメント「目標管理」 石川永子(DRI)	組織マネジメント(演習) 「本部空間配置」 元谷豊(SC)	閉講式	
25(月)	総合	有明の丘基幹的広域防災拠点施設見学(希望者のみ)	開講式 オリエンテーション	災害発生メカニズム「津波」 原田賢治(静岡大)	災害対応総論「初動期対応」 高田洋介(DRI)	災害対応総論「応急期対応」 石川永子(DRI)	
26(火)	総合	組織マネジメント「基本理論」 牧紀男(京都大)	災害対応各論「交通計画」 中川大(京都大)	災害対応総論「復旧・復興期対応」 市古太郎(首都大)	災害対応総論(演習) 「業務フロー整理」 浦川豪(兵庫県立大)	災害対応総論(演習) 「災害対応総論」 「イメーজトレーニング」 矢守克也(京都大)	
27(水)	総合	災害対応総論「復興法制」 内閣府(立岩)	災害対応総論「広報」 福島隆史(TBS)	災害対応各論「災害救助法」 中島直樹(和歌山県)	災害対応各論「災害時要援護者」 田村圭子(新潟大)	災害対応各論「救援物資物流」 興村徹(日通総研)	
28(木)	総合	災害対応総論「BCP」 丸谷浩明(東北大)	災害対応総論「危機管理法制」 内閣府(小宮)	災害対応各論「自衛隊連携」 越野修三(岩手大)	災害対応各論「災害時要援護者」 田村圭子(新潟大)	災害対応各論「救援物資物流」 興村徹(日通総研)	
29(金)	総合	災害対応各論「ボランティア」 浦野愛(RSY)	災害発生メカニズム「都市巨大災害」 河田恵昭(DRI)	災害対応各論「広域連携」 近藤伸也(DRI研究員)	災害対応各論「避難行動」		
30(土) 1(日)	総合						
12月	2(月)	総合	災害対応各論「防災まちづくり」 吉川仁(防災&都市づくり計画室)	災害対応各論「インフラ」 能島暢呂(岐阜大)	災害対応各論「健康危機管理」 金谷泰宏(国立保健医療科学院)	災害対応各論「こころのケア」 大澤智子(心のケアセンター)	災害発生メカニズム「竜巻」 小野裕一(東北大)
	3(火)	総合	災害対応各論「都市復興」 中林一樹(明治大)	組織マネジメント「情報処理・情報共有」 浦川豪(兵庫県立大)	防災の動き「東日本大震災の初動対応」 小滝晃(前内閣府審議官)	災害対応各論(演習) 「災害対応演習」 石川永子(DRI)	
	4(水)	総合	総合的防災演習 「本部空間配置」 牧紀男(京都大)	総合的防災演習 +元谷豊(SC)	総合的防災演習 「演習 導入」 牧紀男(京都大)	総合的防災演習 +総合防災ソリューション	
	5(木)	総合	総合的防災演習 「情報処理・対策本部運営演習」 牧紀男(京都大)	総合的防災演習 +総合防災ソリューション	総合的防災演習 「検証・講評」 牧紀男(京都大)	総合的防災演習 +総合防災ソリューション	
	6(金)	総合	組織マネジメント(演習) 「エスノグラフィー」	組織マネジメント 「海外の組織マネジメント」 上野友也(岐阜大)	全体討論会	閉講式	